

## 報告

## 環境保全に取り組む市民大集合 in 人と生きものつながり創生 全国フォーラム

研究所では、毎年、環境保全に取り組む市民団体等に活動発表や相互交流の機会を提供することなどを目的に「環境保全に取り組む市民大集合」を開催してきました。6回目になる今年は、長野県等が9月19日に木曾文化公園ホールでおこなった「人と生きものつながり創生 全国フォーラム」と連携して実施しました。生きものの多様性を保護・保全するには、それに携わる様々な立場の人たちが相互に連携し、活動の充実を図る必要があります。このフォーラムは、そのキックオフ・イベントとして行われました。

当日は秋晴れの中、フォーラムに約500名の方が参加してくださいました。また、市民団体としては、32団体79名の方が参加されました。

午前10時から「環境保全に取り組む市民大集合」をおこないました(写真1)。約100名の方が参加し、市民団体同士、あるいは企業との連携で重要な役割を期待される「信州生物多様性ネットワークきずな」との意見交換会の後、長野イヌワシ研究会、植物の会 トウヒレン、そして木曾町環境協議会に活動報告をしていただきました。



写真1 午前の市民大集合での、きずなとの意見交換会

午後の市民団体・企業等交流会の第1部でも、午前の市民大集合に参加した団体の皆さんが一分間で自分たちの活動内容を紹介されました。タイトなスケジュールの中、時間オーバーしないか、ハラハラどきどきでしたが、みなさんしっかりまとめてお話をされました。アンケート結果をみるとかなり好評で短時間で活動内容を知ることができて大変よかったという意見もありました。第2部では、各団体の方が自分たちのポスターや展示物の前にたって説明されました(写真2)。かなり活発に議論や意見交換をする姿がみられ、参加された団体同士、あるいは市民団体と企業との間で、今後連絡を取り合いたいというお話しもお聞きしました。



写真2 ポスターや展示物の前で活発に意見交換する皆さん

市民団体に関連した催しを中心に報告しましたが、その他にも、フォーラムでは枝廣淳子さんの基調講演やパネルディスカッション等があり、生きものの多様性を保護・保全するには、いかに多くの人たちのつながりが重要であるかを確認できた一日となりました。

(堀田 昌伸 kanken-shizen@pref.nagano.lg.jp)